

TONEYAMA



大阪府立刀根山高等学校 〒560-0045 豊中市刀根山6-9-1 TEL:06-6843-3781 FAX:06-6843-1716 H27-No.9

豊中市・豊中市社会福祉協議会主催

「東北大震災支援ボランティアバス」

8月19日～22日に実施された「東北大震災支援ボランティアバス」今年も本校から2年生4名と先生2名、計6名が参加しました。

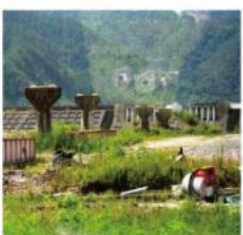


19日

豊中市役所での出発式後、午後5時バスで岩手県へ向けてスタート。この日は車中泊。

20日

午前、大槌町陸中海岸青少年の家到着。マイクロバスに乗り、車中から被災地視察。そして大槌町役場を表敬訪問後、城山公園より被災地見学。 午後は、防潮堤の草刈りボランティアを行いました。



そして大槌高校で生徒同士の交流会。グループ単位で情報交換・意見交換を行いました。



21日

午前中は釜石市天神仮設住宅にて被災者の方々より聞き取り～3～4人グループで話を伺いました。



午後は陸前高田市に移動、「奇跡の一本松」等の市内視察を行いました。その後、陸前高田市役所を表敬訪問。同市の戸羽太市長から「被災地の今」について話を伺いました。

14.5m
ここまで
津波が…



最後の夜は、二又復興交流センター泊。

22日

午前6時、二又復興交流センターをバスで出発。午後8時過ぎに豊中市役所到着し、解散式。



ボランティアバスに行き、私はあの地震、津波のことを忘れないことが、どれだけ被災者の方々の励ましになっているかを知りました。

それを同じ歳くらいの人たちと学び合えたことは、とても貴重な体験でした。本当に行きよかったです。

(高本)

今回出会った被災者の方の笑顔が、みなさんとても素敵だったのが、とても印象的でした。

ボランティア活動も少しではありますが、活動することができて、大震災の復興に少しでも携わることができて嬉しいです。

(島袋)

今回初めてのこのボランティアに参加して、本当に行きよかったです。被災地の今を知るだけでなく、他校の子とか、たくさんの方々と交流したりで、自分にプラスになることばかりやし、たくさんの方が学べて充実した4日間を過ごせました。

また来年も機会があれば、もっと多くの人に参加してもらいたいなあと思います！

(小田)

前回に引き続き、今回も参加させていただきました。見た目は、盛り土の段階なので、あまり復興しているようには見えなかったですが、盛り土は確実に進んでいたし、なにより被災者のみなさんも去年より明るくて、心の復興も進んでいるんだなと実感することができました。

他校・現地の方々と交流できて楽しかったです。

(松本)